



職員に迎えられ初登庁する大木市長

4月21日、大木市長・市議会議員選挙が実施され、市長選挙では、大木哲市長が4選を果たしました。

4期目の初登庁日となった5月7日、市長は市職員ら約300人から拍手で迎えられ、市庁舎正面玄関前の「だれでも広場」で就任の挨拶をしました。市長は「経営者の視点で、大和市という船のかじ取りをしっかりとしていきます。戦略と戦術を持って、健康都市を推進していきます」と述べました。また、新たな元号「令和」を迎えたことにも触れ、「令和の時代は、人口減少が肌で感じられる時代になり、少子化、高齢化などもより一層大きな問題となると思います。市

新しい市議会議員

市議会議員選挙では、定数28に対して35人が立候補。選挙の結果、新人3人、元職2人を含む28人の新市議会議員が誕生しました。

議席番号	氏名	年齢	当選回数	会派	住所
1	古木 邦明	49	2	自民党・新政クラブ	つきみ野
2	福本 隆史	46	1	自民党・新政クラブ	桜森
3	河端 恵美子	50	2	公明党	福田
4	金原 忠博	59	2	公明党	下鶴間
5	古谷田 力	50	3	明るいみらい大和	上草柳
6	町田 零二	39	3	明るいみらい大和	西鶴間
7	野内 光枝	51	1	明るいみらい大和	福田
8	布瀬 恵	50	1	神奈川ネットワーク運動	下鶴間
9	山崎 佐由紀	54	2	神奈川ネットワーク運動	つきみ野
10	佐藤 正紀	47	3	大和正風会	中央林間
11	石田 裕	35	2	虹の会	上和田
12	堀口 香奈	40	4	日本共産党	上和田
13	山本 光宏	46	2	自民党・新政クラブ	福田
14	小田 博士	44	2	自民党・新政クラブ	福田
15	山田 己智恵	60	3	公明党	つきみ野
16	鳥淵 優	52	3	公明党	上和田
17	木村 賢一	72	5	明るいみらい大和	上和田
18	小倉 隆夫	62	3	明るいみらい大和	下鶴間
19	青木 正始	52	3	明るいみらい大和	深見
20	国兼 久子	61	2	神奈川ネットワーク運動	福田
21	安藤 博夫	71	3	大和正風会	南林間
22	赤嶺 太一	38	3	大和正風会	福田
23	大波 修二	72	9	虹の会	西鶴間
24	高久 良美	65	5	日本共産党	西鶴間
25	井上 貢	48	3	自民党・新政クラブ	中央林間
26	中村 一夫	53	3	自民党・新政クラブ	代官
27	平田 純治	72	4	自民党・新政クラブ	渋谷
28	吉澤 弘	57	4	公明党	西鶴間

敬称略(5月9日現在)



4期目の決意を力強く述べました

民の皆さんが安心して暮らせるまちを作るのは、職員一人一人です。「挨拶」「笑顔」「スピード感」「市民目線」「ありがとう」の5つのキーワードを大切に、頑張っていきたいと思います。

正副議長、正副委員長を選出

5月9日に開かれた市議会臨時会で、議長に平田純治氏(72歳/自民党・新政クラブ)、副議長に赤嶺太一氏(38歳/大和正風会)が選出されました。



平田純治 議長



赤嶺太一 副議長

また、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。

- 総務常任委員会** ◎青木正始(明るいみらい大和) ○金原忠博(公明党)
- 厚生常任委員会** ◎堀口香奈(日本共産党) ○安藤博夫(大和正風会)
- 文教市民経済常任委員会** ◎山本光宏(自民党・新政クラブ) ○石田 裕(虹の会)
- 環境建設常任委員会** ◎古木邦明(自民党・新政クラブ) ○国兼久子(神奈川ネットワーク運動)
- 議会運営委員会** ◎大波修二(虹の会) ○山崎佐由紀(神奈川ネットワーク運動)
- 基地対策特別委員会** ◎中村一夫(自民党・新政クラブ) ○高久良美(日本共産党)

※敬称略、◎は委員長、○は副委員長

問議会について▶市議会事務局総務係
☎(260)5502 FAX(262)2421

4期目を迎えて

大和市長 大木 哲

4月21日の大和市長選挙において、多くの市民の皆さんにご支持いただき、5月2日、第17代市長に就任しました。大和市60年の歴史で初となる4期目の市長として、未踏の地に踏み出す思いがいたします。

私は、市長就任以来、3期12年にわたり「人」「まち」「社会」の3つの健康を基軸に、施策を進めてまいりました。

まず「人の健康」では、がんの早期発見に力を入れた結果、平成19年に6.7%であったがん検診の受診率が約20%まで上昇し、乳がん・子宮がん検診の受診率は、県内市で1位を記録。また、少子化対策として、4年連続ゼロを達成した待機児童対策などを推進したほか、市立病院の小児救急24時間365日体制を実現しました。一方、高齢化対策として、全国初となる「はいかい高齢者個人賠償責任保険事業」など、認知症の方やご家族が安心して暮らすための支援に取り組んでいます。

次に「まちの健康」では、防災対策として、スタンドパイプ消火資機材を県内一充実させ、今年3月には南林間に「やまと防災パーク」を整備するなど、防災機能の強化を図りました。中でも「やまと防災パーク」は、市内最大の雨水地下貯留施設、延焼を防止する土手や防火樹、災害対応型の遊具などを擁する、防災の砦となっています。また、犯罪対策にも注力し、県内最多となる街頭防犯カメラの設置などにより、犯罪認知件数は市長就任前年の4,376件から、昨年は1,664件と大幅に減少しておりますが、引き続き、防犯対策の強化に努めます。

3つ目の「社会の健康」では、図書館として日本一来館者数が多い文化創造拠点シリウスのほか、中央林間図書館などの文化施設、多目的スポーツ広場を整備した大和ゆりの森、ゼロから36か所に増やしたボール遊びもできる公園など、文化活動やスポーツ活動、子どもの外遊びの支援などに力を注ぎました。いずれの施設も、幅広い世代の憩いの場としてだけでなく、「おひとりさま」の居場所として、今後ますます重要になるものと考えます。

これまでの取り組みは、WHOの国際会議へ招聘されたほか、日本全国はもとよりシンガポールをはじめとする海外からも非常に多くの視察団が訪れるなど高い評価をいただいておりますが、過去の評価に甘んじることなく、市民の皆さんの目線に立ち、スピード感を持って、より魅力的な施策の展開に努めてまいります。「令和」の幕開けとともに、健康都市のさらなる飛躍を目指し、全力を注ぐ所存でございますので、皆さんのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。